

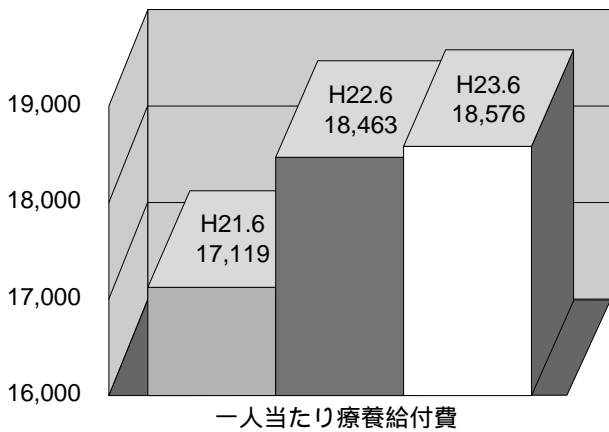
笛吹市国民健康保険通信

「国民健康保険加入者の皆さんへみんなの国保を守るために」

このコーナーでは、国民皆保険制度を根底で支えつづけている国民健康保険（以下「国保」）の制度や笛吹市の現状についてお知らせしていきます。「みんなの国保を守るため」に、一緒に考えていきましょう。

平成23年6月療養給付費も増！！（国保会計からの支払分の状況）

平成23年6月の一人当たり療養給付費は1万8576円で、平成22年6月と比較して、113円（+0.6%）と微増でしたが、23年度療養給付費は高額に推移し続け



一人当たり療養給付費

ています。医療費の増加は、国保税の増加につながります。一人ひとりで医療費の節約を心がけましょう。安定した国保運営のためにも、皆さんのご協力をお願いします。

問合せ先
国民健康保険課 国保総務担当
055(262)4111

慢性腎臓病を 予防しよう!! VOL.1

市の国保の総医療費で毎年1位、2位を占めているのが腎不全です。また山梨県の糖尿病の透析実施率は、全国ワースト3位と日本透析学会より発表されました。今回、山梨慢性腎臓病対策協議会にご協力いただき5回にわたり、協議会の医師による『慢性腎臓病に関するコラム』を掲載いたします。

す。この機会に腎臓病について知っていただきたいと思えます。第1回目は、協議会代表の原口和貴医師です。

とっても怖い腎臓病!!

笛吹市の皆さん こんにちは。

突然ですが慢性腎臓病（CKD）ってご存知ですか？「えっ！知らない!」慢性腎臓病は高血圧や糖尿病に次いで頻度の高い病気です。腎臓は身体の老廃物を洗い流してくれる臓器ですから腎炎だけではなくて糖尿病、高血圧、肥満なども原因となります。人口が高齢化したために今や8人に1人が慢性腎臓病になり480人に1人が透析になる時代です。腎不全で困っている人はもっと沢山います。怖いのは病気が始まって何十年も経って透析になるのに、直前まで自覚症状が出ない事です。早期発見、早期治療が一番大切です。実はたった二つの検査をすれば早期発見は簡単です。

尿蛋白：病院で行う尿検査で1分以内で解ります。尿蛋白が+なら1〜2% 尿蛋白2+が続くなら5〜6%の人が15年程度で透析になります。今までは医者も看護師も「尿蛋白が出ると20年後に何が起きるか？」を知らなかったから皆さんに情報が

届きませんでした。なお尿蛋白の試験紙は薬局で購入できます。eGFR（クレアチニン）：血液検査をして性別と年齢を考慮しeGFRを計算して腎臓の働きが正確に分かります。年齢にもよりますがeGFR（ml/min）50以下なら一度は腎臓専門医を受診してください。30以下ではかなり腎機能も落ちており、15以下では透析も考慮します。

今は医学も進んでいます。腎臓を守る多くの方法があります。主治医に相談し早めに手を打ちましょう。今なら間に合います。詳しくは次のホームページをご覧ください。

（ ） 血液中のクレアチニンという代謝産物をもとに計算した腎臓の働きの状況を示すもの
（日本慢性腎臓病対策協議会 <http://j-ckdi.jp/index.html> または山梨慢性腎臓病対策協議会 <http://www.yckdi.org/>）
山梨慢性腎臓病対策協議会
代表 原口 和貴

